

令和8年2月27日(金)



# 旭中中学校だより

＜学校の教育目標＞

- 学び続ける生徒
- 思いやりのある生徒
- やりぬく生徒
- たくましい生徒

自分がすべきことに向き合おう

校長 久米 達夫

2月に入り、日中プラス気温になる日が増えて、少しずつ春を感じられる時期になってきました。しかしながら、今月は暴風雪のため2回の臨時休校の措置をとることがありましたので、これからも緊張感を持ちながら学校経営、学校運営を進めて参ります。

3年生の高校受験では、これまで公立高校推薦面接試験・私立高校の受験が終わり、合格(内定)者の発表が行われております。しかしながら、公立高校の一般受検が3月4日・5日に控えております。すでに入学試験を終えた生徒の皆さんは、これから受験する人の気持ちが痛いほどわかると思います。どうかその人たちの気持ちを考えて、自分がやるべきことに目を向けて取り組んでください。そして、学年全体で卒業に向かう気持ちを高めてほしいと思います。

1、2年生も学年末テストを終えたところです。学習に合わせて、これまでの学校生活を振り返り、自分の成長を確かめることが大切です。4月から2年生は最上学年となり、生徒会活動の中心として、学校の雰囲気を作っていくこととなります。1年生は上級生となり新1年生の手本となることが求められます。「先輩」としてすべきことは、えらそうに命令したりすることでなく、「目標(目的)に向かって、やるべきことに真剣に取り組む」ことだと考えます。その姿を見て、後輩たちには「あこがれ」や「尊敬」する気持ちが育まれていきます。自分たちの行動そのものが、旭中の伝統となっていくのだということを常に考えていきましょう。

高校入試が終わると、学校全体は一気に卒業式モードになります。

卒業式は、3年生にとって中学校最後の授業となります。卒業式に向かうその姿が、来年、再来年卒業を迎える在校生の道しるべとなります。1、2年生の皆さんは、受験を乗り越え、卒業式を迎える3年生の姿をしっかりと目に焼き付け、自分たちはどんな卒業式にしたいのかをイメージしてもらいたいと思います。

保護者・地域の皆様。残り少なくなった令和7年度ですが、今からできることにできるだけ取り組み、新年度を迎えたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。